

平成2年度 和歌山県文化奨励賞

の だ ひろ じ 野 田 裕 示

住 所：東京都世田谷区

出 身 地：和歌山県御坊市

生 年：昭和27年

◎業績及び経歴

昭和43年県立日高高等学校に入学、有本弘氏に師事。18歳で県展洋画部門の知事賞を受ける。卒業後、多摩美術大学絵画科油画専攻に進む。

個展を中心とした作品の発表活動を続け、昭和52年以降、東京、名古屋、京都、広島等で個展を20回開催する。

主に、油絵具による幾何学的な抽象画を制作していたが、昭和55年頃より、アクリル絵具による箱状の支持体を用いたレリーフ状の作品の制作を始め、にわかに新進の画家として注目を集めるようになる。

この作風は、現在においても継続され、「第4回ハラ・アニュアル」「第18回現代日本美術展－企画部門」「現代日本美術の動静－絵画PART2展」などに出品し、高く評価される。

作品は、宮城県立美術館、原美術館などに収蔵されている。

また、本県においては、昭和59年に御坊市市民文化会館の壁画を制作、本年夏には、県立近代美術館における「美術の現在－4つの試み」に作品を発表。すぐれた作品の創造を通して、今後活躍の期待される画家の一人である。